



学校だより

逢う地

希望と目標を持ち、自立の基礎を身につけた生徒の育成

お・・思いやりのある学校
う・・美しさに満ちた学校
ち・・力を伸ばす学校

唐津市立相知中学校

R元. 9. 2. 第 11 号 文責：江川俊之

2 学期始業式

前半は猛暑、後半は大雨に悩まされた夏休みでした。私自身も大雨により被災しました。8月27日(火)佐賀からの出張の帰り、18時頃多久を通過中に道路の冠水により車が故障しました。何とかロードサービスが来てくれたのが23時頃。その日は北多久公民館の避難所にて一夜を明かしました。県内の各所で大きな被害が出ました。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。50年に一度と言われる特別警報が2年連続で発令されました。世界的な異常気象も含めて自然環境の劇的な変化を危惧するのは私だけでしょうか。教育に携わる者として日頃の環境教育の重要性を改めて痛感しています。このままでは地球の将来が大変なことになるそうです。各自がこれ以上の温暖化を阻止するために何ができるのかを考え、今すぐ行動に移すべきです。小さな行為の積み重ねが大きな実績につながるはずです。

さて、本日2学期の始業式を行ないました。夏休み期間中大きな事件、事故、怪我等の報告はありませんでした。何よりです。学校行事が多く長い2学期ですが、目標を持ちメリハリのある学校生活を過ごしてほしいものです。スポーツの秋、勉強の秋、芸術の秋、読書の秋、…実り多い秋にしましょう。特に3年生は学校行事を通してリーダーとしての達成感を感じながら、自己の進路の実現に向けて全力を尽くしてください。全職員でサポートしていきます。まずは体育大会の成功に向けて全校が一丸となって取り組みましょう。



平和集会

8月6日に予定していた平和集会が台風接近のため中止になりましたので、21日(水)の学年登校日に実施しました。生徒会が原爆の被害や本校にある被爆桜2世について調べたことを発表してくれました。

平成20年当時、相知中学校にはまだ女子ソフトボール部がありました。練習試合や大会を通じて、いろいろな学校との交流があり、広島のア田女子中学校もその一つでした。その中で、ア田女子高校の生徒会が、学校にある被爆した桜の枝を接ぎ木して、そこから苗木を育て、それを全国の学校に送っているという取組をされていることを知りました。その趣旨に賛同して苗木を一本いただけることになりました。たった一本でも相知中にそのような桜が根付き、それをきっかけに、生徒たちが平和の大切さについて考えてくれるきっかけになればと思い、どの教室からも見える中庭花壇の中央付近に植樹したそうです。



除草作業・チャリティ募金

8月25日(日)早朝より学校外回りの除草作業にたくさんの保護者および生徒の皆さんに参加していただきました。少人数では過酷な作業も大人数では効率よくできます。まさにマンパワーの成果です。お陰様で体育大会に向けての練習にも一層気合が入りそうです。本校の生徒は必ずやこのご恩を感動で返してくれることと信じています。

また、除草作業終了後、3年生のボランティアが愛は地球を救う24時間テレビチャリティ募金に参加し、町内のまいづる9とセレナで募金活動を行いました。今年度は全国から648,212,104円の募金が集まったそうです。相知会場でもペットボトル一杯の1円玉や貯金箱ごとの募金もありました。ご協力ありがとうございました。

